

福地ダムまつり



県内最大の水がめである福地ダム(東村)において、福地ダム夏休み自然体験会が、7月16日(日)に開催されました。

福地ダムまつりは、昭和62年に沖縄で最初に開催された歴史あるダムまつりです。

会場では、自然観察船(ゴンミキ号)による「湖面遊覧」や「カヌー体験」、「生き物観察会」、「ダム施設見学」、「川遊び」、



「丸太切り体験」、「ザリガニ釣り体験」などのイベントが行われ、多くの家族連れが楽しんでいました。

また、なかなか沖縄の川では経験できない「ザリガニ釣り体験※」は、昨年以上に盛況でした。残念ながら釣ったザリガニは外来生物であることから持って帰ることはできなかったのですが、飼えなくなったペットが自然に放たれ、生態系に悪影響を与えることを理解することが出来たのではないのでしょうか。

※外来生物として福地ダム湖から駆除されたアメリカザリガニを利用しており、再拡散の無いよう持ち帰りはお断りいたしました。

金武ダムまつり

世界で初めて台形CSG形式を採用した金武ダム(金武町)において、7月23日(日)に金武ダムまつりが開催されました。

会場では「ダム湖面遊覧」や「カヌー体験」、「流しモズク」に「漆喰シーサーづくり体験」などのイベントが催されました。流しモズクでは、参加者は金武町でとれたおいしいモズクを味わいました。

また、金武ダムまつりではスタンプラリーも開催され、4つのイベントに参加すると豪華な抽選会に参加することができ、午後の抽選会では、景品が当たるとびに歓声が聞こえるなど最後まで子供達が楽しんでいました。

また、金武ダムまつり会場で第18回金武町青年エイサー祭りが開催されたことから、夕方からも来場者が絶えず大盛況のうちに終了しました。



漢那ダムまつり



全国に先駆け、生態系の保全に本格的に取り組んだ初めてのダムである漢那ダム(宜野座村)において、7月30日(日)に漢那ダムまつりが開催されました。

オープニングでは地元の「松田夢宝太鼓(まつだむほうだいこ)」による迫力あるエイサー、漢那小学校児童合唱団の元気な歌声で幕開けしました。

漢那ダムまつりは 沖縄のダムまつりの中でも最もイベントの数多いダムまつりで、会場では、「島ぞうり彫り体験」や「親子木工教室」、「丸太切り体験」、「ダムパネルクイズ展」、「漢那ダム生き物博物館」などの20のイベントが催され、中でも「カヌー体験」や「漢那ダムまるごと探検ツアー」が予約待ちがでるほど盛況でした。



外来生物

もともと生息していない地域に持ち込まれた動植物のことを外来生物といいます。外来生物は、もともとそこで生活していた生き物たちを食べたり、また、えさを横取りしたりするので、そこで生活していた生き物がいなくなってしまう。沖縄のダムでもペットとして飼育されているグッピー、パールダニオ、アメリカザリガニや釣りに人気があるオオクチバスなどの外来生物が増えています。そのためダム管理事務所ではそれらの外来生物の駆除を行っていますが、根絶にはいたっていません。飼っている外来生物がいる場合は絶対に「捨てない」、また、野外で外来生物が繁殖してしまった場合には、それ以上「拡げない」ことが大切です。





沖縄のダムまつりを巡る

沖縄本島では、羽地ダム鯉のぼり祭りを皮切りに7ダム(羽地ダム、大保ダム、福地ダム、金武ダム、漢那ダム、倉敷ダム、安波ダム)でダムまつりが開催されています。

今回、7月末までに開催されました、羽地・大保・福地・金武・漢那ダムまつりを紹介します。

羽地ダム鯉のぼり祭り

羽地ダム鯉のぼり祭りは、ゴールデンウィークの5月6日(土)、7日(日)の両日に羽地ダム(名護市)において開催されました。

ここは、水力によって圧縮空気を作りダムの設備に有効利用するなど、先進的な技術開発を行ったダムです。

今年はあいにくの雨となりましたが、会場入り口では優雅に空を泳ぐ300匹余りのこいのぼりが、来場者を迎え入れてくれました。

会場では「カヌー体験」や「ウナギのつかみ取り大会」、「羽地大川生き物探検」、「羽地ダム施設の見学」などが催され、また、特設ステージにおいては、みんなの一票でグランプリが決定する「手作り鯉のぼり総選挙」や舞台イベント等が行われ、訪れた人たちはダムの魅力を満喫していました。



大保ダムまつり



やんばるの玄関口である大宜味村において、大保ダムまつりが、7月8日(土)に開催されました。

会場では、「湖面カヌー体験」をはじめ、「学習の川遊び」や、「陶芸教室」が催された他、環境学習・自然体験交流活動の拠点となっている大保ダムの資料館「ぶながや館」では、「シーランプ作り」や大宜味村の村木シークワァーサーの木で作る「My箸づくり」などの体験イベントが催されました。

特に子供達に人気の学習の川遊びでは、楽しそうに遊ぶ子供たちであふれかえり、水のすべり台や親子で川の生きもの探しなど水とのふれ合いを楽しんでいました。

夕方からは大宜味村の塩屋湾をろうそくの明かりで照らすイベント「キャンドルナイト in サーベイ」が開催され、美しい月夜の下、塩屋湾を囲むように四千五百本のキャンドルが灯されると、会場は幻想的な空間に包まれました。

訪れた人々は塩屋湾の景色を写真に撮るなど、涼をとりながら思い思いの夏の夕暮れ時を楽しんでいました。

